

# 光市記者発表資料

令和4年3月10日

件名	市営バス新車両の運行開始について
内容	<p>1 内容</p> <p>本市では、合併後、町営バスを引き継ぐかたちで市営バス運行事業が実施され、「自家用有償旅客運送登録制度」によって交通空白地域である大和地域を運行する路線と大和地域から市役所までを結ぶ全5路線を運行しています。</p> <p>この度、市営バスが高齢者などの利用者にとって今まで以上に使いやすく、親しみやすいものとするため、バス車両を14人乗り（乗客定数12人）のワゴン車に小型化し、以下のとおり運行を開始します。</p> <p>2 運行開始日</p> <p>令和4年3月22日（火）</p> <p>3 市営バス新車両の概要（別紙のとおり）</p> <p>4 財源</p> <p>車両購入の財源としてコミュニティ助成事業※を活用しました。</p> <p>※一般財団法人自治総合センターが取り組む宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や施設整備への助成など、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とするもの。</p> <p>5 車両お披露目式について</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、お披露目式は実施しないこととします。</p> <p>6 写真データの提供について</p> <p>新車両納車時に撮影した写真データ（DVD）を用意しておりますので、希望される場合は、3月11日（金）以降に光市公共交通政策課にお立ち寄りください。</p>
問合せ先	
担当課 光市経済部公共交通政策課公共交通政策係 担当者 着本 早紀 電話 0833-72-1420（内線 344）	

## 市営バス新車両の概要

### 1 車種

1 4人乗り中型車（日産キャラバン）

### 2 乗客定数

12人

### 3 仕様

- (1) 車体色 白
- (2) 使用燃料 ガソリン
- (3) 駆動方式 FR（2WD）
- (4) 変速装置 オートマチック
- (5) 全長 5,230mm

### 4 特徴

#### (1) デザイン（4つのコンセプト）

ア 光市の名所や歴史、文化などのシティプロモーション要素

側面に虹ヶ浜海岸や冠山総合公園、伊藤公資料館、石城山神籠石等のシティプロモーション要素を取り入れています。

イ 光市がイメージされるカラー

市章のカラーである青を基調とし、暖かみを感じる黄色と組み合わせることで暖色と寒色となり、系統の違う2色を組み合わせることでより青が際立ち、光市がイメージされる配色となっています。

ウ 十分な視認性の確保

正面、後面のデザインは、市章を入れることで“光市営バス”であることが一見して分かり、アルファベット表記にすることで海外から来られた方にもわかりやすいデザインとなっています。

エ 親しみやすく、利用しやすい印象の確保

側面左側が旧光市、右側が旧大和町を表しており、両地域を結ぶバスとして市民全員に親しみやすく、利用しやすい印象を持たせています。

<写真>

正面



右側面



後面

左側面



## (2) 車両装備

①乗降時のオートステップや②乗降用手摺り、③車内全体の手摺り（グリップ）、滑り止めマットなど高齢者をはじめ利用者の乗降や車内移動に配慮した付属品が整備されているほか、⑤運賃箱や⑥降車ボタン等、路線バスとしての設備があります。

また、コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、飛沫防止対策として運転席後ろに⑦仕切りカーテンを取り付けています。

<写真>

①オートステップ



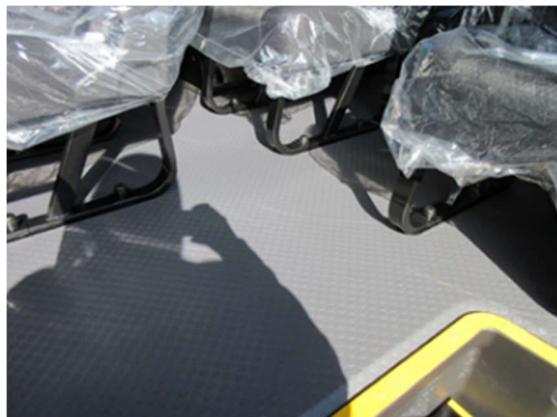
②乗降用手摺り



③車内全体の手摺り



④滑り止めマット



⑤運賃箱



⑥降車ボタン



⑦飛沫防止仕切りカーテン(運転席と後部座席の間)



## 5 市営バス運行事業について

### (1) 概要

中山間地域である大和地域を運行する路線と大和地域から市役所までを結ぶ5路線で構成し、主に、民間バス事業者が撤退した地域（交通空白地域）を市町村が自家用車を用いて運送することができる「自家用有償旅客運送登録制度」により運行している。

また、定時定路線となっており、“光市市営バス運行事業に関する条例”、“光市営バス運行事業に関する条例施行規則”によって運行方法を定めている。

### (2) 路線（全5路線）

塩田線、東荷線、市役所線、岩田・三輪線、城南原線

### (3) 便数

1日6便

### (4) 利用者の状況

主に旧大和町の路線周辺地域住民。

高齢者に限らず、高校生の通学利用も一定数ある。